

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10689001				
授業名	家族社会学	形態	講義	単位	2単位
担当教員	青柳 涼子				
開講学期	2026年度後学期	曜日・時限	火曜1限		
授業目的	少子高齢化が進むなかで、現代日本の家族はさまざまな課題を抱えている。本講義では、身近な「家族」を切り口に、現代日本の家族のあり方や、家族をとりまく社会状況について理解を深めることを目的とする。				
授業内容	家族社会学の基礎となる考え方や理論を、具体例を交えながら分かりやすく解説する。あわせて、未婚化や少子化、核家族化・小家族化、子ども虐待、高齢者介護などの身近なテーマを取り上げ、戦後の社会構造の変化と関連づけながら、現代の家族の特徴や直面している問題について考えていく。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・家族社会学における基本的な概念や主要な理論を理解できる。 ・統計資料などを用いて、現代日本の家族の現状や変化を読み取り、説明できる。 ・多様な家族のあり方を理解し、家族が抱える課題や必要とされる支援について考えることができる。 				
ディプロマポリシーとの関連性	<コDP2-(1)> コミュニティ政策学の基礎的かつ専門的な知識・技能を体系的に身に付けている。				
授業形態	基本的には講義形式の授業を行うが、アクティブラーニングの手法（ペアワーク・グループワーク）の手法を活用する。				
事前・事後学習の所要時間	本科目では、各授業回に2時間の事前学習、2時間の事後学習を必要とする。 合計15回の授業で、事前事後学習60時間となる。				
テキスト	※この科目では指定の教科書はありません。授業内で使用する資料等については、別途授業内で紹介します。				
評価方法	事前事後学習課題および随時試験（授業内試験）の成績で判断する。授業を欠席し、随時試験（授業内試験）を受けられなかった者には個別で対応する。				
評価基準	事前学習・事後学習課題20点、随時試験（授業内試験）80点、合計100点				
試験・レポート等のフィードバック	随時試験（授業内試験）の解説は、翌週の授業内で行う。				
注意事項及び履修条件	事前・事後学習を欠かさないこと。				

S : 100～90、A : 89～80、B : 79～70、C : 69～60、D : 60未満

第1回	
事前学習	シラバスを読み、授業目的・授業内容・授業形態等を理解しておくこと。
授業内容	授業目的、授業内容、到達目標、授業形態、テキスト、評価方法・基準、受講上の注意事項等について説明する。次に、「家族とは何か」について考え、家族の「形態面の特色」「成員結合面の特色」「機能面の特色」、家族の集団性のゆらぎについて講義する。
事後学習	「家族が家族であるための条件」について、受講前と受講後であなたの考え方がどのように変化したかを、150字程度でまとめてください。作成した文章は、クラスプロファイルで提出してください。
参考文献	園井ゆり・浅利宙・倉重加代（編）2022『家族社会学 基礎と応用』（第4版）九州大学出版会

第2回	
事前学習	配布資料「形態としての家族・意識としての家族」を読み、わからない用語を調べる。また、重要だと思う箇所に下線を引くなどして内容を理解しておくこと。理解が難しい箇所については、疑問点を整理し、質問できるようにしておくこと。
授業内容	「家族分析の手がかり（1）」家族と世帯の関係性や核家族概念について講義する。
事後学習	配布資料「人口変動と家族・世帯」を読み、わからない用語を調べる。また、重要だと思う箇所に下線を引くなどして内容を理解しておくこと。理解が難しい箇所については、疑問点を整理し、質問できるようにしておくこと。
参考文献	園井ゆり・浅利宙・倉重加代（編）2022『家族社会学 基礎と応用』（第4版）九州大学出版会

第3回	
事前学習	他の家族の様子（テレビや映画などでも可）を見て、「自分の家族とは違う」と感じたことを100字程度でまとめてください。作成した文章は、クラスプロファイルで提出してください。
授業内容	「家族分析の手がかり（2）」家族の3類型について講義する。

事後学習	配布資料「日本の『家』制度と『家』概念」を読み、わからない用語を調べる。また、重要だと思う箇所に下線を引くなどして内容を理解しておくこと。理解が難しい箇所については、疑問点を整理し、質問できるようにしておくこと。
参考文献	園井ゆり・浅利宙・倉重加代（編）2022『家族社会学 基礎と応用』（第4版）九州大学出版会

第4回	
事前学習	配布資料「直系家族と夫婦家族 家族制度論」を読み、わからない用語を調べる。また、重要だと思う箇所に下線を引くなどして内容を理解しておくこと。理解が難しい箇所については、疑問点を整理し、質問できるようにしておくこと。
授業内容	「家族分析の手がかり（3）」家族の3分類および家族類型と家族分類の関連について講義する。
事後学習	配布資料「直系家族と夫婦家族 家族制度論」を読み直し、家族類型と家族分類をそれぞれ捉える必要性について、150字程度でまとめてください。作成した文章は、クラスプロファイルで提出してください。
参考文献	園井ゆり・浅利宙・倉重加代（編）2022『家族社会学 基礎と応用』（第4版）九州大学出版会

第5回	
事前学習	配布資料「結婚相手の選び方」を読み、わからない用語を調べる。また、重要だと思う箇所に下線を引くなどして内容を理解しておくこと。理解が難しい箇所については、疑問点を整理し、質問できるようにしておくこと。
授業内容	「配偶者選択・結婚」配偶者選択のメカニズムや未婚化・晩婚化・非婚化など結婚をめぐる今日の状況をあらわすトピックスについて講義する。
事後学習	配布資料「晩婚・非婚化の現状」を読み、内容を理解した上で、受講前と受講後であなたの考え方がどのように変化したかを150字程度でまとめてください。作成した文章は、クラスプロファイルで提出してください。
参考文献	園井ゆり・浅利宙・倉重加代（編）2022『家族社会学 基礎と応用』（第4版）九州大学出版会

第6回	
事前学習	厚生労働省「全国ひとり親世帯等調査」の集計結果を見て、母子世帯と父子世帯にどのような状況の差異があるかを確認しておくこと。
授業内容	「離婚・再婚」離婚や再婚の動向とその社会的背景、離婚家庭や再婚家庭が直面する生活課題について講義する。
事後学習	配布資料「離再婚」を読み、内容を理解した上で、受講前と受講後であなたの考え方がどのように変化したかを150字程度でまとめてください。作成した文章は、クラスプロファイルで提出してください。
参考文献	園井ゆり・浅利宙・倉重加代（編）2022『家族社会学 基礎と応用』（第4版）九州大学出版会

第7回	
事前学習	中学生・高校生の頃と現在を比べて、親子の役割分担や関係性がどのように変わったと感じるかを、100字程度でまとめてください。作成した文章は、クラスプロファイルで提出してください。
授業内容	「ライフサイクル」ライフサイクル、家族周期、発達課題といった概念の説明ならびにライフサイクルの研究手法の紹介をした上で、ライフサイクルの変化とその波及効果について講義する。
事後学習	配布資料「選択される人生」を読んだ上で、受講前と受講後であなたの考え方がどのように変化したかを150字程度でまとめてください。作成した文章は、クラスプロファイルで提出してください。
参考文献	園井ゆり・浅利宙・倉重加代（編）2022『家族社会学 基礎と応用』（第4版）九州大学出版会

第8回	
事前学習	配布資料「家族ストレス論 家族の危機をどうとらえるか」を読み、わからない用語を調べる。また、重要だと思う箇所に下線を引くなどして内容を理解しておくこと。理解が難しい箇所については、疑問点を整理し、質問できるようにしておくこと。
授業内容	「家族の危機」家族危機の捉えかたや家族危機の要因連関モデルについて講義する。事例の考察をペアないしグループで行う。
事後学習	配布資料「家族ストレス論 家族の危機をどうとらえるか」を読み直し、内容を理解したうえで、あなた自身の家族生活で起きた出来事の一つを取り上げ、「ABC-Xモデル」に当てはめて整理しておくこと。
参考文献	石原邦雄（編著）2004『家族のストレスとサポート』放送大学教育振興会

第9回	
事前学習	少子化の原因として考えられる要因を整理し、文章にまとめておくこと。
授業内容	「少子化と家族」少子化の現状とその要因について講義する。

事後学習	配布資料「親になること・妊娠と出産の現状」を読んだ上で、受講前と受講後でああなたの考え方がどのように変化したかを150字程度でまとめてください。作成した文章は、クラスプロファイルで提出してください。
参考文献	園井ゆり・浅利宙・倉重加代（編）2022『家族社会学 基礎と応用』（第4版）九州大学出版会

第10回	
事前学習	子ども虐待の原因として考えられる要因を整理し、文章にまとめておくこと。
授業内容	「子ども虐待（1）」子ども虐待の現状、定義や類型について講義する。
事後学習	配布された新聞記事を読み、わからない用語を調べる。また、重要だと思う箇所に下線を引くなどして内容を理解しておくこと。理解が難しい箇所については、疑問点を整理し、質問できるようにしておくこと。
参考文献	園井ゆり・浅利宙・倉重加代（編）2022『家族社会学 基礎と応用』（第4版）九州大学出版会

第11回	
事前学習	配布資料「子ども虐待」を読み、わからない用語を調べる。また、重要だと思う箇所に下線を引くなどして内容を理解しておくこと。理解が難しい箇所については、疑問点を整理し、質問できるようにしておくこと。
授業内容	「子ども虐待（2）」子ども虐待防止に関わる法制度の整備の歴史について講義する。
事後学習	配布資料「子ども虐待」を読み直した上で、受講前と受講後でああなたの考え方がどのように変化したかを150字程度でまとめてください。作成した文章は、クラスプロファイルで提出してください。
参考文献	園井ゆり・浅利宙・倉重加代（編）2022『家族社会学 基礎と応用』（第4版）九州大学出版会

第12回	
事前学習	厚生労働省「国民生活基礎調査」（介護票）の集計結果を見て、近年の高齢者介護の状況を確認しておくこと。
授業内容	「高齢化と家族、高齢者介護」高齢化の現状、高齢者の家族形態の変化、家族による高齢者介護の現状と課題について講義する。
事後学習	配布資料「介護」を読んだ上で、受講前と受講後でああなたの考え方がどのように変化したかを150字程度でまとめてください。作成した文章は、クラスプロファイルで提出してください。
参考文献	園井ゆり・浅利宙・倉重加代（編）2022『家族社会学 基礎と応用』（第4版）九州大学出版会

第13回	
事前学習	総務省統計局「国勢調査」の集計結果を見て、世帯規模や世帯の家族類型の変化を確認しておくこと。
授業内容	「家族形態の変化」核家族化と小家族化の動向と要因について講義する。
事後学習	配布資料「『家』制度から夫婦家族制度、核家族化へ」を読んだ上で、受講前と受講後でああなたの考え方がどのように変化したかを150字程度でまとめてください。作成した文章は、クラスプロファイルで提出してください。
参考文献	園井ゆり・浅利宙・倉重加代（編）2022『家族社会学 基礎と応用』（第4版）九州大学出版会

第14回	
事前学習	これまでの授業内容全体を復習しておくこと。
授業内容	「振り返りと到達度の確認」これまでの授業内容に関する補足説明と到達度の確認を目的とする随時試験（授業内試験）を行う。授業を欠席し、随時試験（授業内試験）を受けられなかった者には個別に対応する。
事後学習	到達度の確認後、理解不十分と思われたところを重点的に復習しておくこと。
参考文献	園井ゆり・浅利宙・倉重加代（編）2022『家族社会学 基礎と応用』（第4版）九州大学出版会

第15回	
事前学習	家族にはどのような機能があるかを考えて文章化しておくこと。
授業内容	①家族機能の変化について講義する。 ②随時試験（授業内試験）の解説と授業全体の総括を行う。
事後学習	授業全体を振り返り、知識の定着を図ること。 この授業を通して学んだこと、考えたことを150字程度でまとめてください。作成した文章は、クラスプロファイルで提出してください。
参考文献	園井ゆり・浅利宙・倉重加代（編）2022『家族社会学 基礎と応用』（第4版）九州大学出版会

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。

ディプロマポリシー	<p><コDP-2> 【コミュニティ政策学分野における知識・技能・態度】 コミュニティ政策学に関する考え方及び基礎知識・技能を体系的に理解し、地域がもつ課題の解決にあたる意欲、能力を身に付けている。</p> <p><コDP2-(1)> コミュニティ政策学の基礎的かつ専門的な知識・技能を体系的に身に付けている。</p> <p><コDP2-(2)> 講義科目で学んだ専門的な知識とサービラーニング活動を通じて得た実践的な経験を統合し、課題解決に必要な知識や技能を身に付けている。</p> <p><コDP2-(3)> 地域社会の多様な場において、コミュニティ形成や課題解決に主体的に参画する態度・志向性を持っている。</p>
-----------	--